



No. 72

2007年(平成19年)

7月1日

発行

浄土真宗本願寺派

和歌山教区日高組

責任者

鈴木悟峰



善宗寺降誕会

☆釈提桓因

阿弥陀経に聞く

『釈提桓因等の無量の諸天・大衆と俱なりき』

寅さんの口上に出てくる帝釈天です。もとインド古来の神話における最も有力な神でしたが、仏教にとり入れられて梵天王とともに仏法の守護神となりました。

須弥山の頂上に住むといわれています。

また、帝釈天の名を代表として挙げ、その他楚天・四大天王

から下は人・阿修羅まで、数えることもできない同聞衆がこの『小経』の会座に集まつたのです。

序分が終わります。

正宗分 依正段

今まで『阿弥陀経』の序論でした。これからが本格的にお話し始めります。

説法の始まり

『そのとき、仏、長老舍利弗に告げたまほく』

『序分義』でお話しをした、信・聞・時・主・処・衆の六事が全てできたときです。

仏とは、

阿弥陀さま？

おシヤカ様？

おシヤカ様です。浄土真宗は、仏教なのにお寺やお仏壇におシヤカ様がないと言う人がいますが、おシヤカ様は、仏像としてあるのではなく、お經を説く人としてあります。

また、お寺の阿弥陀さまの所にお仏飯を二つお供えします。これは、阿弥陀さまとおシヤカ様のためにあるといいます。おシヤカ様が阿弥陀さまをお説きになり、それをそのままにお聞かせいただくのが私たち門徒なのです。

舍利弗さんに対してもシヤカ様がお話を始めるところです。三つに分けています。一つは、阿弥陀仏の世界の国土とその住人について説かれるところです。二つは、その阿弥陀仏の世界にどのようにして往生するかが説かれます。二つは、六方の諸仏様が証誠護念して、この經に説かれている教えを信じるように勧めてくださることです。

(永原)

法話

もう半年・・・

田植えが終わる頃、ご門徒さんたちは「もう早いもんで半年や・・・」もう今年も半分が過ぎる。ヒヨンな事から知り合った由良町の英語講師(A·L·T)ジョセフ·ローレンス·ダン先生(略してジョーダン先生)が半年前のお正月に「除夜の鐘をついたい。」との事。オーストラリアの友達三人でやつてきました。自坊ではそのあと本堂で「お正信偈」が勤まり、三人にも「お念珠・聖典」を持つていただき、みんなでお参りしました。

そのあとのご法話、「皆さん、あけましておめでとう・・・」。

今年は英語でア·ハッピー·ニュー·イヤー・・・。世界中

が新年には「オメデトウ・・・」と始めるのだなと思いました。

「オメデトウとは何でしよう。

新しい年を迎えたことがめでたい? 幸せな一年に? すばらしい一年に? そういう方もいらっしゃるが毎年オメデトウを重ねていつのまにやら年末には「忘年会」。時だけが空過してゆきます。私たちの暮らしぶりは「もう半年・・・もう一年」。最近こんな詩とお出遇いました。関西の詩人である杉山平さんのが「生」より、

ものを取りに部屋に入つて何を取りに来たのか忘れて戻ることがある

京に行く新幹線・ひかりでのこと。御坊駅で新大阪発→東京行きの指定席の切符を買いました。

今から十年ほど前のこと、東

京都に行きました。

「なんまだぶつ・・・」と。

(岩崎)

戻る途中でハタと思い出すことがあります。座るであろう方のことを期らしく、その用事は何であつたかいつの日か思い当たるときのあらわれです。私は幸福である

思い出せぬまま僕はすぐすごあ世へ戻る

私たちの日暮らしを思うとき大切な事をなげかけています。

ご開山親鸞聖人の奥様である恵信尼さまのお手紙、一通目に親鸞様の比叡山のころの生活

また法然様とのお出会いに至るまでの事が窺えます。身体が先にこの世に出てきた大切な用事

「生死出ずべき道」を命がけで求められます。その親鸞様は法然聖人のもと、お念佛のみ教えとお出遇いすることで用事が完結してゆきます。もう「生死出

ずべき道」を求める必要がなく

なったからです。

それは「阿弥陀様(南無阿彌陀仏)の解決である」と法然様に聞いてゆかれたのです。「なん

まんだぶつ・・・」と称えるおぼつかないこの私の身に、今「我にまかせよ、必ず救う。安心せよ。」とのお手元確かに阿弥陀様

がとどいてくださる、働いてくれるださる、一緒くださることであります。

用事は忘れて阿弥陀様のお手元の確かさを聞きましょう。もう半年・・・お念佛申すこの身には、いつも阿弥陀様がご一緒にあります。

71号の正解は、「豊臣秀吉」でした。正解者の中から、

次の方に粗品を進呈いたします。

由由由由由由和歌山市良良良良良良町町町町町町内田島田井上登末子常美孝

市濱崎五十鈴信子惠子常美孝

様様様様様様日高町浜出和子

西陣

4321都会と○舍

西陣

4321都会と○舍

西陣

4321都会と○舍

西陣

思つてゐる方ものいはうですが、それは間違ひです。永代經とは、末長くお經が読まれるという意味です。お寺が存続し、み教えが栄え続けるようにと願いが込められた意味にもなります。つまり、お寺が護持されること、子や孫が代々にわたつて、阿弥陀さまの教えを聞き慶ぶことです。

そうした願いと志を持つて、お金や仏具などをお寺に納めるのが、永代經懇志であります。

その報恩の行為を受け、おおむね年一、二回、春、秋に開く法要が、永代經法要であります。

子供二人は独立し、母と夫婦の三人で暮らしていく。す。幼い頃から、仏壇にお参りするようにと聞かされ育つてまいりましたが、

むろこひ 家旅

仏事は親任せにしていました。その母も高齢となり、私宅も門信徒の皆さま同様、世代交代の時期が來たことを感じています。

三年前から、總代として光專寺のお世話をさせて頂いておりますが、当初は何をしていいのかわからず、皆様に教えられることばかり



門徒心得

えいたいきょう 「永代経とは」

の法名を記したりします。これは、故人のために納めるというのではありませ
ん。故人の「永代にみ教えが伝わるよう」と、遺志

また、故人の追慕から納められる懇志もあります。表書きには、「永代経志」などと、文字の右肩に故人

「故人への追善供養」と誤解しないで下さ
り。さらに、いつたん納めてしまふと、「お寺にお参りに行かなくては、お経を上げて下さる」と、お寺任せにして、足を運ばなくなるというのも困ります。自分自身の生死の問題です。真実の教えに出会い、教えにめざして生きていく世界、聞法に励んで遊びを子孫に伝えていく、これこそ「永代経」ではないでしょうか。

から、総代としてお世話をさせて頂ます。ですが、当初は何いかわからず、えられることばかりでした。その中で、連続研修を受け、門信徒の心得、作法、法話を聞く機会に恵まれました。ことを有り難いことと喜んでおりまます。また、この三年の間には、蓮如上人

五百回忌にも参加させて頂きました。

現在、光専寺の修復という大事業に関わることで、護持発展に努めさせて頂けるという大きなご縁を得ることができました。また、三十数年前から、ずっと家族で除夜の鐘を打たせて頂いているご縁もあって、感謝の気持ちでいっぱいです。

今は、平成二十三年に行われる親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を楽しみにしております。

の親族の方々が焼香されましたが。そして、「仏教婦人会綱領」を全員で唱和した後、御坊組専福寺の清水光宣師より御法話を拝聴しました。日常の何気無い出来事の中でも仏法を話され、また小林一茶についての詳しいお話は「我ときて遊べや親のない雀」という俳句しか浮ばなかつた私には大変興味深く、また妻子や親族にも縁の薄かつた人の心情が察せられました。



円行寺

（日高町小浦）



第十四代住職 片桐淨映

開基 寛永十二年正月
初代 片桐明専古義真言宗（寛永十二年）
改宗

沿革 当寺院は往時は大通院と称する古義真言で坂城落城し秀頼自刃したのを聞き自ら刃に伏した。その一族は四方に離散し当時一族の片桐主膳なる人漂浪して当地に来たり、八重郎と改名し剣を売つて田畠を購入し専心農業に従事したが、大通院檀徒の懇請により得度して明専と改名し在職中に真宗の教義を信じ、寛永十二年正月に改宗して堂宇を建立し寺号を円行寺と改め初代より十四代淨映となる。

日高組寺院めぐり

真宗



法物

本願寺第十一代顯如宗主御影、第十二代教如宗主御影を所蔵している。



年間行事

- 三月・九月彼岸会
- 八月十五日盂蘭盆会
- 十一月中旬報恩講
- 十二月三一日除夜の集い

日高組通信

部長	鈴木悟峰	副組長	片桐淨映
副部長	亀井真竜	(円行寺)	(長覚寺)
〔仏教婦人会〕	日高組基幹運動推進委員	〔宗教壮年会〕	〔寺族婦人会〕
藤本使朗(即生寺)	上西偕行(念興寺)	副部長	北山憲昭(光専寺)
〔仏教婦人会〕	藤田孝雄(西教寺)	副部長	松本秀法(信行寺)
鈴木悟峰	〔組連研担当〕	〔僧侶研修〕	〔仏教壮年会〕
(善宗寺)	〔広報活動〕	〔仏教壮年会〕	〔少年・寺族青年〕
〔宗教壮年会〕	副部長	副部長	副部長
藤本使朗(即生寺)	岩崎法明	永原智行(教専寺)	北山憲昭(光専寺)
〔善宗寺〕	〔組連研担当〕	〔仏教婦人会〕	〔寺族婦人会〕
〔宗教壮年会〕	〔宗教壮年会〕	〔宗教壮年会〕	〔少年・寺族青年〕
〔宗教壮年会〕	〔宗教壮年会〕	〔宗教壮年会〕	〔少年・寺族青年〕

なぜ、どんな悪人でも信じることで救われるのでしょうか。それだけでその罪は洗い流せるものですか。

大谷 浄土真宗では悪人でも信心一つで救われると説きます。ここでいう「悪人」とは法律や道徳に反する一般的な意味での悪人を除外しているわけではありませんが、より正確に言えば、自分の力ではさとりを開くことができない煩惱を持つた人の自覚を表しています。自分を善人の側に

お尋ね下さい。阿弥陀如来の救いを信じる悪人が救われるのです。

大谷光真『門主ご著作「世のなか安穏なれ」』より

おいて他の人を悪人と眺めるのではなく、自分自身の問題として問うていくことが大切です。また「救われる」という意味は、この世で罪が許されるとか罪が消えるということではなく、罪を持つたままの救いといふことであります。あえて言えば、罪を背負ってしつかり生きるようになるということです。なお、ただの悪人ではなく、お尋ね下さい。

実施日：七月二十一日(土)
実施場所：浄明寺(由良町大引)
参加者募集中。参加ご希望の方は、七月末日迄に各お寺に申し出て下さい。詳細は、ご住職様にお尋ね下さい。

・日高組「子どものつどい」
・キッズ・サンガー

実施日：七月二十一日(土)
実施場所：浄明寺(由良町大引)
詳細については各寺ご住職様にお尋ね下さい。

☆行事予定

・総代会前期研修会・仏教壮年会研修旅行

実施日：七月二十二日(日)

行き先：京都方面

聖人の

ご旧跡を訪ねて

総代会及び仏教壮年会の皆様のご参加をお待ちしています。

ています。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。